

**創薬基盤推進研究事業 研究開発課題
事後評価報告書**

研究開発課題名	固定化触媒担持フロー合成システムによる医薬品合成
代表機関名	国立研究開発法人理化学研究所
研究開発代表者名	山田 陽一
全研究開発期間	令和元年度～令和3年度

1. 研究開発成果

事後報告書(下 URL)参照

<https://www.amed.go.jp/content/000101264.pdf>

2. 総合評価

・ 優れている

【評価コメント】

高効率な医薬品合成・医薬品中間体合成が可能な固体化触媒担持フロー反応システム構築において、よりクリーンかつ迅速な医薬品合成を計画どおり実施することで、高活性固定化触媒の開発に成功し、企業が求める初期条件をクリアするグラムスケールでの合成システム構築を達成した。このことは、創薬基盤技術としての汎用性・発展性があるものと評価できる。

これまで培ってきた企業との協力体制を活かし、今後、特許取得も視野に、今回の成果が実用化されていくことを期待する。特に、企業導出に向けて、企業ニーズに合わせた明確な目標数値を定め高効率・低コスト化にも取り組むことを望む。

以上